

あなたなしでは始まらない。



第23回環境自治体会議

いこま会議

住宅都市からの挑戦 ～近未来のライフスタイル～

2015年5月21日(木)～23日(土)

【会場】たけまるホールほか

主催／環境自治体会議いこま会議実行委員会・環境自治体会議・生駒市

※第23回環境自治体会議いこま会議は、環境省の基準に基づき、カーボン・オフセットを実施しています。



認証番号:CO2-Q149
生駒市
jes.go.jp

参加のご案内

- 【と き】 平成27年5月21日(木)・22日(金)・23日(土)
- 【ところ】 奈良県生駒市 たけまるホール他
- 【主 催】 環境自治体会議いこま会議実行委員会、環境自治体会議、生駒市
- 【後 援】 環境省近畿地方環境事務所、奈良県

ごあいさつ

少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。皆様におかれましては、日々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、生駒市において第23回環境自治体会議いこま会議を開催するにあたり、皆様にご案内を申し上げることを大変うれしく思います。

生駒市は、奈良県北西端に位置し、大阪府、京都府とも接し、大阪市内からのアクセスもよく、おもに大阪のベッドタウンとして急速に人口が増えました。昨年3月、内閣府より「環境モデル都市」に選定を受けましたが、大都市近郊の住宅都市としては初めてです。これを機に、本大会の開催地として名乗りをあげ、以降、4月に実行委員会を立ち上げ、これまでの大会に劣らぬ内容となるよう準備を進めてまいりました。

大会テーマとしては、「住宅都市からの挑戦 ～近未来のライフスタイル～」を掲げ、全体会や分科会の中身の検討をしてきました。そこであらためて気づいたのは、地域を取り巻く課題の多くが、住宅都市に限らず、地方都市共通のものであることです。本大会における皆様方との活発な議論が、地域を問わず問題解決のヒントとなり、かつ地域を越えた協力のきっかけとなることと念じています。

お忙しい時期ではあると思いますが、多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

平成27年3月吉日

環境自治体会議いこま会議実行委員長 久保昌城

環境自治体会議会員自治体（平成27年1月末現在52自治体）

北海道ニセコ町	茨城県那珂市	福井県坂井市	愛媛県新居浜市
北海道斜里町	茨城県行方市	福井県若狭町	愛媛県内子町
北海道士幌町	埼玉県和光市	長野県飯田市	高知県梼原町
秋田県能代市	千葉県市原市	岐阜県多治見市	福岡県柳川市
秋田県藤里町	東京都足立区	静岡県三島市	福岡県筑後市
秋田県大潟村	東京都八王子市	三重県松阪市	福岡県古賀市
山形県金山町	東京都日野市	京都府八幡市	福岡県大木町
山形県高畠町	東京都福生市	大阪府豊中市	熊本県水俣市
山形県庄内町	東京都小笠原村	大阪府枚方市	熊本県天草市
山形県遊佐町	新潟県湯沢町	大阪府交野市	宮崎県綾町
茨城県古河市	福井県敦賀市	兵庫県伊丹市	鹿児島県日置市
茨城県ひたちなか市	福井県勝山市	奈良県生駒市	鹿児島県屋久島町
茨城県東海村	福井県あわら市	山口県宇部市	沖縄県読谷村

1 会議プログラム

第1日目（5月21日・木） 全体会 たけまるホール大ホール

12:00	受付開始
13:00	開会式 主催者・来賓あいさつ
13:30	メインテーマの紹介と今回会議のめざすもの 中口毅博 環境自治体会議環境政策研究所所長
13:40	基調講演「住宅都市からの『環境モデル』の期待」 藤田壮氏 国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター長 名古屋大学連携大学院教授
14:30	休憩
14:40	各分野からみた「環境モデル都市実現へのまちづくり」 交通の分野から 加藤秀樹氏 公益財団法人豊田都市交通研究所 主席研究員 住宅の分野から 星野雅一氏 大和ハウス工業(株)総合技術研究所 主任研究員 行政から 生駒市長（予定）
15:30	わがまちの環境自慢（3日目に優秀事例表彰）
16:30	分科会議論の課題整理
16:45	終了
17:00	環境自治体会議総会（会場：たけまるホール小ホール）【会員自治体のみ】
19:00	懇親会（会場：コミュニティセンター）【会員自治体のみ】

第2日目（5月22日・金） 分科会 生駒市内3会場で開催（次ページ以降をご覧ください。） 交流会 北コミュニティセンターISTA はばたき

9:00	受付開始
9:30	各分科会午前の部開始
12:30	各分科会午前の部終了
13:30	各分科会午後の部開始
16:30	各分科会午後の部終了
17:30	交流会受付開始
18:00	交流会開始
20:00	交流会終了

第3日目（5月23日・土） 全体会 たけまるホール大ホール

9:00	受付開始
9:30	開会
9:35	生駒市立桜ヶ丘小学校ハーモニックバンドによる演奏
10:10	分科会報告及び環境自治体会議いこま会議成果まとめ
11:20	わがまちの環境自慢の優秀事例表彰
11:40	いこま会議宣言採択
11:50	次期開催地あいさつ
12:00	閉会あいさつ

2 分科会の紹介 今後、内容や出講者が変更になる場合もあります。

分科会概要

分科会・分野		会場および時間帯（市内3会場で実施します。）	
		AM 9:30～12:30	PM 13:30～16:30
第1分科会	環境問題 基礎情報	たけまるホール	
第2分科会	環境行政		たけまるホール
第3分科会	エネルギー1 創エネ	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) (集合後、市内施設見学へ)	北コミュニティセンターISTAはばたき
第4分科会	エネルギー2 省エネ	北コミュニティセンターISTAはばたき	北コミュニティセンターISTAはばたき
第5分科会	交通		たけまるホール
第6分科会	水環境	北コミュニティセンターISTAはばたき	
第7分科会	生物多様性		北コミュニティセンターISTAはばたき
第8分科会	廃棄物・ 資源循環 1	北コミュニティセンターISTAはばたき	北コミュニティセンターISTAはばたき
第9分科会	廃棄物・ 資源循環 2	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)
第10分科会	地域資源活用型 まちづくり	北コミュニティセンターISTAはばたき	北コミュニティセンターISTAはばたき
第11分科会	環境学習・ESD	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)
第12分科会	地域協働	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)	コミュニティセンター(生駒セイセイビル内)

分科会の内容 ※出講者の所属、肩書きは平成27年3月現在のものです。

第1分科会 環境問題基礎情報 環境問題と私たちの暮らし

会場 たけまるホール 時間 9:30～12:30 対象 おもに初参加の市民
環境問題について、学びたい人向けのわかりやすい講座です。

進行 NPO 法人 奈良ストップ温暖化の会(NASO) 理事 遊津隆義氏

講演 認定NPO 法人 環境市民 代表理事 杵本育生氏（地球温暖化の現状）

〃 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構 常務理事 清家弘久氏（私たちの消費と世界のつながり）

〃 水Do!ネットワーク 事務局長 瀬口亮子氏（飲み水から考える環境問題）

第2分科会 環境行政 自治体間競争と魅力あるまちづくり

会場 たけまるホール 時間 13:30～16:30 対象 おもに行政職員

関西圏の複数都市から「魅力あるまちづくり」や「シティプロモーション」の事例報告を受け、「まちの魅力」や「自治体間競争」について考えます。まちの魅力を考えるうえで、「環境」の位置付けはどのようなものか、また自治体間競争が以前から在住する住民にどのようなメリットをもたらすか。競争だけでなく自治体間協働はないのか、さまざまな視点から考えます。

コーディネーター 京都府立大学 生命環境学部 教授 宗田好史氏

事例報告 草津未来研究所（草津市総合政策部に設置された自治体研究所。地域の実践的な課題解決や、中長期的・戦略的な政策研究と提言を行う。）

〃 とよなか都市創造研究所（豊中市政策企画部内に設置。中長期的な視点に立った

都市政策に関する調査及び研究を行っている。)

- 〃 自治体ガバナンス塾世話人(神戸市職員) 大島博文氏(激動の時代に、自治体職員がいかに働くべきか、地域を越えた職員自身による自己研鑽塾の活動)
- 〃 堺市文化観光局・世界文化遺産推進室長 宮前誠氏(歴史と文化を活したまちづくりを推進)

第3分科会 エネルギー1 創エネ AM 住宅都市における再生可能エネルギーの普及

会場 コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) 時間 9:30~12:30 対象 行政職員と市民いずれも
生駒市内の市民共同発電所と小水力発電所を見学します(集合後バスにて現地へ向います)。

FITの導入後、市民主体の再生可能エネルギー設備導入が大きく進んだ一方、電力買い取り価格の低下で、普及に足踏みも生まれています。このような状況に対して、どのような「次の手」があるかを生駒市の事例を参考に考えます。現地視察の後、バスで北コミュニティセンターISTAはばたきに移動します。

- コーディネーター 一般社団法人 地域未来エネルギー奈良 理事長 清水順子氏
- 事例報告 一般社団法人 市民エネルギー生駒 理事長 楠正志氏(設置費用の8割を生駒市民からの出資により実現した市民共同発電所について、現地で紹介)
- 〃 生駒市(山崎浄水場における小水力発電設置事例)

第3分科会 エネルギー1 創エネ PM 再生可能エネルギーの普及に取り組む実践事例

会場 北コミュニティセンターISTAはばたき 時間 13:30~16:30 対象 行政職員と市民いずれも
市民出資型や寄付型などのさまざまなタイプの再生可能エネルギーの普及実践事例報告を参考に、普及の踊り場的な状況を打破していくために、市民と行政でどのような協働に取り組めるか議論します。

- コーディネーター 一般社団法人 地域未来エネルギー奈良 理事長 清水順子氏
- 事例報告 認定NPO法人 きょうとグリーンファンド 理事 大西啓子氏(幼稚園・保育園での環境学習とあわせて市民共同発電所の設置をすすめている)
- 〃 一般社団法人 市民エネルギー京都 専務理事 伊東真吾氏(奈良県内も含めて、各地で推進している小水力発電設置活動)
- 〃 (株)Hibana(京都ペレット町家ヒノコ) 代表取締役 松田直子氏(ペレットストーブをはじめ、木質資源の活用を市民に広める活動)
- コメンテーター (株)森のエネルギー研究所 代表取締役 大場龍夫氏

第4分科会 エネルギー2 省エネ AM 共感を得る住民向け省エネ啓発

会場 北コミュニティセンターISTAはばたき 時間 9:30~12:30 対象 おもに行政職員
住民向け省エネ啓発は自治体環境担当者の重要な仕事のひとつですが、従来からの啓発手法では一般市民には広がらないといった限界も見えています。午前中、ユニークな啓発事例の報告を受け、参加者の問題意識とあわせ、より市民の共感を得るための方策等を考えます。

- コーディネーター 認定NPO法人 気候ネットワーク 主任研究員 豊田陽介氏
- 事例報告 (有)ひのでやエコライフ研究所 取締役 鈴木靖文氏(家庭での省エネやごみ減量をすすめるため、社会心理的視点を重視した取組を実施している)
- 〃 一般社団法人 Forward to1985 energy life 代表理事 野池政宏氏(豊かで人間的な暮らしと、エネルギー消費の半減(2011年比)の両立を提案している)
- 〃 近畿日本鉄道株式会社 不動産事業統括部 部長 山本寛氏(生駒市とともに進めている「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」をはじめ、住民への効果の訴求など)

第4分科会 エネルギー2 省エネ PM 住宅のエネルギー効率の向上と見える化

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも

住宅都市では住宅からのエネルギー消費が大きな割合を占めており、将来も高齢化や多世帯化で一層その傾向が強まるにもかかわらず、自治体の省エネ対策の取り組みは遅れています。そこで健康と省エネを両立させる建設・改修の方法や、市民理解を深める見える化の方策について話し合います。

- コーディネーター 認定 NPO 法人 気候ネットワーク 主任研究員 豊田陽介氏
事例報告 大和ハウス工業（株）総合技術研究所 主任研究員 星野雅一氏（住環境のエネルギー効率向上について、住宅メーカーの取組を紹介）
〃 一般社団法人 日本エネルギーパス協会 理事 中谷哲郎氏（住環境エネルギー効率の見える化の具体的事例） ほか
アドバイザー 法政大学 地域研究センター 特任教授 白井信雄氏

第5分科会 交通 これからの都市交通

会場 たけまるホール 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも

中山間地に限らず都市においても利用者減少による民間交通機関の撤退により交通空白地が生まれ、移動手段確保のためコミュニティバスやデマンド型交通の導入が多く自治体で進んでいます。財政負担の急激な増大に対し、どのような工夫が可能なかを、事例報告を受けて考えます。

- コーディネーター 認定 NPO 法人 環境市民 チーフコーディネーター 風岡宗人氏
事例報告 NPO 法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 土井勉氏（都市内の交通空白地での取組と、実現した公共バスへの住民・行政協働による利用促進）
〃 三郷町まちづくり推進課（新たに交通インフラを整備するのが難しい地域の参考事例＝予約制乗合タクシーの取組）
〃 京丹後市企画政策課（利用者増と観光振興への寄与など、多くの成果を生み出しつつある 200 円上限バスの取組）
〃 公益財団法人 豊田都市交通研究所 主席研究員 加藤秀樹氏（これからの都市交通について）
〃 生駒市（コミュニティバスたけまる号の紹介）

第6分科会 水環境 都市河川の浄化

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 9:30～12:30 対象 行政職員と市民いずれも

下水道普及率は増加しているのに、都市内の小河川や都市周辺の閉鎖性水域の水質改善は進んでいない一方で、行政にあまり依存しない住民主体の浄化活動が成果をあげている例もあります。そこでこれらの事例を参考に、住民と行政とが協働ですすめる水質改善の方法について議論します。

- コーディネーター 水色舎 代表 佐々木和之氏
事例報告 ECOKA 委員会 田口信義氏（生駒市内の団体。川だけでなく未来に残す森の整備など、地域住民が長期展望に立って活動）
〃 野洲市環境基本計画推進会議 代表 松沢松治氏（野洲市内を流れる家棟川への市民関心の高まりが、琵琶湖の自然環境再生につながった事例）
〃 ねや川水辺クラブ 上田 豪氏（第10回日本水大賞を受賞した「寝屋川再生プロジェクト」など、市民と行政の協働事例の紹介など）

第7分科会 生物多様性 都市における生物多様性

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも

開発により自然が減少した都市および近郊では生物多様性の確保が課題であり、市民団体や企業との協働が欠かせないものになっています。そこで活動事例を参考にしつつ生物多様性確保の方法を検討するとともに、生物多様性地域戦略などの自治体の計画にどのように反映すべきか考えます。

- コーディネーター 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員 宮永健太郎氏
- 事例報告 積水ハウス(株) 環境推進部 部長 佐々木正顕氏(豊かな生態系を育んできた“里山”を手本に、住宅オーナーや地域住民とともに、鳥や蝶が集う在来樹木を広める「5本の樹」計画を推進)
- 〃 市民公益活動団体「はたる」(生駒市内におけるホタルの生息状況、生育環境の調査や保全活動)
- 〃 湖南企業いきもの応援団(「企業の持続的な経済活動」と「地域の自然再生への貢献」を両立させた活動として、11社で組織し行政と協働で推進)

第8分科会 廃棄物・資源循環1 AM ごみ減量 2Rに挑む(リユース食器市の参加体験)

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 9:30～12:30 対象 行政職員と市民いずれも

びん・缶・ペットボトルや容器包装プラなど、資源ごみのリサイクルは浸透していますが、必ずしも環境負荷の最小化につながるわけではありません。そこで資源ごみ自体を減らし、リサイクルにかかるコストやエネルギーを削減する方法について、事例報告やリユース食器市の参加体験から考えます。

- コーディネーター 大阪市立大学 工学部 都市学科 准教授 水谷 聡氏
- 事例報告 World Seed 副代表 中島 光氏(リユースびん入り商品を開発し、市民・自治体の協力を得たプロセス)
- 〃 NPO 法人 関西ワンディッシュエイド協会 理事長 樽井雅美氏(普通の主婦がリユース食器市を発案し広めたプロセスと行政との協働)
- 〃 ECO-net 生駒(生駒市環境基本計画推進会議)と生駒市(レジ袋有料化の取り組み)

第8分科会 廃棄物・資源循環1 PM 資源ごみリサイクルの自治体負担の軽減

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも

午前に続き、資源ごみリサイクルにかかるコストやエネルギーの削減について、リサイクルを減らして2R(リデュースとリユース)を推進する事例から考えます。

- コーディネーター 大阪市立大学 工学部 都市学科 准教授 水谷 聡氏
- 事例報告 NPO 法人 地域環境デザイン研究所エコトーン 代表理事 太田航平氏(祇園祭60万食分でリユース食器を採用されるまでに至ったプロセス)
- 〃 容器包装の3Rを進める全国ネットワーク 副運営委員長 中井八千代氏(3Rのなかで優先すべき、リデュースとリユースの各地の取組み事例紹介)
- 〃 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 リサイクル推進室 室長 庄子真憲氏(2R推進のため、国として取り組んでいること)

第9分科会 廃棄物・資源循環2 AM 生ごみ(食品ごみ)の減量

会場 コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) 時間 9:30～12:30 対象 行政職員と市民いずれも

自治体のごみ減量が進まないのは、燃えるごみの3～4割を占める生ごみの減量が進まないことにあります。そこで各地の事例をもとに、生ごみ(食品ごみ)の減量を進める方法について考えます。

- コーディネーター 京都市ごみ減量推進会議 事務局 齋藤友宣氏

事例報告	福井県安全環境部循環社会推進課（おいしい福井の食べきり運動）
〃	(株)アミタ持続可能経済研究所(バイオマス技術を用いた食品廃棄物の地域内循環)
〃	滋賀県甲賀市生活環境課（市全域で取り組む生ごみ堆肥化事業）
〃	(有)ひのでやエコライフ研究所 大関はるか氏（まちなかコンポストの活動）
〃	生駒市（生ごみ処理機助成）

第9分科会 廃棄物・資源循環2 PM 共感を得るわかりやすい環境情報発信

会場 コミュニティセンター（生駒セイセイビル内） 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも
 ごみ減量が進まない大きな要因のひとつに、無関心層の理解を引き出せていないことがあります。そこで資源循環に関する情報発信の実践事例や研究成果を通して、市民への働きかけの方法について考えます。

コーディネーター	京都市ごみ減量推進会議 事務局 齋藤友宣氏
事例報告	ふろしき研究会 代表 森田知都子氏（伝統文化と関連づけた市民啓発）
〃	NPO 法人ごみじゃぱん（減装商品による消費者への具体的な情報提供）
〃	独立行政法人国立環境研究所 小島英子氏（環境情報が消費者の行動にあたえる影響の研究）

第10分科会 地域資源活用型まちづくり AM 地域の資源を見つけて活かす

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 9:30～12:30 対象 行政職員と市民いずれも
 都市に限らず中山間地も含めた地域資源を活かしたまちづくりの成功要因や成功に至るプロセスについて活動事例を通して考え、住民との協働による地方創生総合戦略の進め方のヒントを得ます。

コーディネーター	同志社大学大学院 総合政策科学研究科 客員教授 谷口知弘氏
事例報告	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局 甲賀晶子氏（地域の空き家活用事例）
〃	京都府和東町地域力推進課（お茶、森、坂を活かしたまちおこし）
〃	(株)都市樹木再生センター（都市内で発生する伐採木等の活用）
〃	殿川小水力発電研究会 副代表 吉村耕治氏（奈良県吉野町で取り組んでいる、水力発電を活かしたむらおこし）

第10分科会 地域資源活用型まちづくり PM 環境と観光、まちの魅力発見（フィールドワーク）

会場 北コミュニティセンターISTA はばたき 時間 13:30～16:30 対象 行政職員と市民いずれも
 地域の資源は誰がどのように見つけるのか、午前のテーマに応えるかたちで、まち歩きを実施します。まち歩きの後、それぞれの発見を地図に書き込み、互いの視点を共有しあいます。多面的な「地域を見る目」を養うことが、観光やまちおこしに貢献できることを実感してもらいます。

コーディネーター	認定NPO法人 環境市民 理事 下村委津子氏
案内と事例報告	ECO-net 生駒（よこみち歩きのすすめ）

第11分科会 環境学習・ESD AM 地域で実践する環境学習・ESD（持続可能な発展教育）

会場 コミュニティセンター（生駒セイセイビル内） 時間 9:30～12:30 対象 行政職員(教員含む)と市民いずれも
 環境に関する生涯学習やESDは環境関心層には浸透していますが、必ずしも一般の住民には広がっていません。そこで行政や市民団体の実践事例から、地域ぐるみで取り組む課題と解決策を考えます。

コーディネーター	NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21 事務局次長 正阿彌崇子氏
事例報告	山形県高島町 生活環境課 村上奈美子氏（健康や楽しさから始めて、住民の関心を集めるアイデアの披露）
〃	公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会 谷内口友寛氏（京都市と協働で取

- り組んでいる「エコ学区」事業の可能性)
- 〃 公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団) 研究員 林 美帆氏
(公害教育から始まり、地域、学校へと対象が広がったプロセス)

第 11 分科会 環境学習・ESD PM 学校における環境学習

会場 コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) 時間13:30~16:30 対象 行政職員(教員含む)と市民いずれも
環境学習や ESD の先進的な学校が多くみられる一方で、先生が手一杯で十分に進められていない学校も
多数あります。先進事例を参考に、行政の支援も取り入れた学校の環境学習の進め方について考えます。

- コーディネーター 京都教育大学 教育学部 教授 水山光春氏
- 事例報告 奈良教育大学 次世代教員養成センター 専任講師 中澤静男氏(奈良県で取り
組まれているユネスコスクールの事例)
- 〃 京都市環境政策局地球温暖化対策室(京都市内全小中学校で実施されている、こども
エコライフチャレンジの取組)
- 〃 奈良市環境政策課(ECOキッズ!ならの子どもの取組)
- 〃 特定非営利活動法人 FEE Japan 代表理事 伊藤正侑子氏(グリーンフラッグを取
得しよう!エコスクールの取組)
- 〃 生駒市(市内小中学校で取り組んでいる環境教育事例)

第 12 分科会 地域協働 AM 事業者の地域活動と協働

会場 コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) 時間 9:30~12:30 対象 行政職員、市民、事業者
「グリーン入札」を導入すると地元企業が排除されてしまうと悩んでいる自治体もあります。そこで
地域の企業のグリーン化を進めるうえの課題とそれを克服する方法について、様々な事例から考えます。

- コーディネーター 滋賀グリーン購入ネットワーク 事務局長 辻 博子氏
- 事例報告 生駒市北田原工業会事務局(株式会社トーコー) 国本 明氏(地域企業が協力し
て河川清掃に取り組んでいる事例)
- 〃 NPO 法人 奈良ストップ温暖化の会(NASO) 副理事長 井上雅由氏(環境マネジ
メントシステムの導入によるコスト削減効果などを紹介)
- 〃 エコアクション 21 地域事務局なら 事務局長 楠下孝雄氏(奈良県内の企業が規模の
大小に関わらず、協力しあって環境保全に取り組んでいることを紹介)
- 〃 (株) ミスタートンカチ 代表取締役 中村 悟氏(エコアクション 21 実践企業か
らのコスト削減や効率向上事例の報告)

第 12 分科会 地域協働 PM 協働の担い手づくり、次世代育成

会場 コミュニティセンター(生駒セイセイビル内) 時間13:30~16:30 対象 行政職員、市民(地域協働組織)
都市に限らず、定年退職した団塊の世代や若い世代の潜在能力が十分引き出せていません。「協働の担
い手不足や活動メンバーの固定化」は古くて新しい課題です。地域の人材の持つ力を引き出す方法を、
各地の実践者の経験をもとに話し合います。

- コーディネーター 交野みどりネット 事務局 南村多津恵氏
- 事例報告 交野みどりネット 自然環境部会 部会長 入江豪宣氏(「かたの未来の里づくり
講座」を通じて、自然環境部会のメンバー倍増)
- 〃 NPO 法人 すいた環境学習協会 理事 石橋修作氏(新たな仲間の獲得と、新シニ
アのやる気の引き出し方)
- 〃 NPO 法人 里山保全活動団体 遊林会(市民が楽しめる場としての森の提供により、
家族参加など若い世代を巻き込んでいる)
- 〃 生駒市(地域デビューガイダンスの紹介)

3 参加申込方法・参加費支払方法

【申込方法】

参加申込書に必要事項を記載の上、次のいずれかの方法でお申し込みください。

①郵 送：〒630 - 0288 奈良県生駒市東新町 8 番 38 号

②メール：eco-model@city.ikoma.lg.jp（申込書を添付してください。）

※①②いずれの場合も送り先の宛名は下記でお願いします。

宛名 生駒市 環境モデル都市推進課内 環境自治体会議いこま会議実行委員会事務局

③持 参：生駒市役所 2 階 21 番窓口 環境モデル都市推進課

※電話・FAX によるお申し込みはできません。

※申込用紙は生駒市公式ホームページからもダウンロードできます。

【申込期限】

平成 27 年 4 月 10 日（金）必着でお願いします。

【参加費】

➤ 会員自治体・市外からの一般参加者：**20,000 円**（1 人あたりの参加費です。）

※参加費に含まれるもの：資料代、交流会費（5 月 22 日開催）、分科会昼食代

➤ 生駒市民参加者：**無料**（生駒市内に在住、又は在勤、通学の方に限ります。）

※市民参加者で分科会昼食を申し込まれる方は、別途昼食代 1,000 円が必要となります。

（事前に申し込みが必要）

※市民参加者で全体会、分科会のみ参加の場合、申し込みは必要ありません。

（会場の定員を超える場合、参加できないことがあります。）

【参加費支払方法】

・参加申込をされた方には、4 月下旬に「申込確認書」と「請求書」を送付します。内容をご確認の上、到着後 10 日以内に指定の口座へお振込みください。振込手数料はお申込みいただいた方のご負担とさせていただきますので、ご了承ください。

・5 月 8 日（金）になっても申込確認書等が届かない場合は、お手数ですが実行委員会事務局までご連絡ください。

・参加費の支払いは口座振込のみとさせていただきます。

・原則参加費に係る領収書の発行は行いません。必要な場合は事前にご相談ください。

・宿泊費については、生駒交通トラベルサービスへお支払いください。

（生駒交通トラベルサービス 電話 0743 - 73 - 3232）

【参加の変更・取り消し】

お申し込みいただいた内容の変更及び取り消しについては、原則対応いたしません。特別な事情等がある場合は、個別に事務局へお問い合わせください。

4 持ち物

- ①申込確認書（4月下旬に送付します。）
- ②マイ箸（環境に配慮のためご協力をお願いします。）
- ③マイボトル ※施設内に自動販売機はございません。

5 昼食・交流会

5月22日（金）の昼食（お弁当）及び交流会での夕食については、**事前にお申し込みされた方のみ**準備しています。お申し込みをされない方は各自で対応していただきますようお願いいたします。お弁当は、当日午前中に参加される分科会の会場でお渡しします。

6 会場のご案内

【全体会】	たけまるホール	生駒市北新町9番28号	電話 0743 - 75 - 0101
【分科会】	たけまるホール	第1、2、5分科会	
	北コミュニティセンター	生駒市上町1543番地	電話 0743 - 71 - 3331
	（ISTAはばたき）	第3（午後）、4、6、7、8、10分科会	
	コミュニティセンター	生駒市元町1丁目6番12号	電話 0743 - 73 - 0500
		（生駒セイセイビル内）	
		第3（午前）、9、11、12分科会	
【交流会】	北コミュニティセンター		
	（ISTAはばたき）		

7 駐車場

各会場とも、駐車場はご用意しておりません。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

8 会場等位置図

【たけまるホール】

近鉄生駒駅 中央改札口から徒歩約 3 分



【北コミュニティセンター ISTA はばたき】

近鉄けいはんな線白庭台駅から徒歩約 8 分

※駅からの送迎バスはございません。

※白庭台駅は生駒駅から 1 駅（約 4 分）です。



【コミュニティセンター（生駒セイセイビル内）】

近鉄生駒駅 中央改札口から徒歩約 3 分

9 宿泊施設のご案内

いこま会議に参加される方へ、次の宿泊施設をご案内しております。

宿泊を希望される場合は、別紙宿泊申込書にてお申込みをお願いします。なお、宿泊料金のお支払先は生駒交通トラベルサービスになります。この宿泊に関するお問い合わせは生駒交通トラベルサービスでお受けいたします。

生駒交通トラベルサービス 担当：伊藤・藤原

電話 0743-73-3232 FAX 0743-75-4440 メール its@m3.kcn.ne.jp

営業時間 平日 9:30~18:00 土曜日 9:30~12:00 日祝定休

宿泊施設名	地区名	住所	電話番号	お一人様当たり料金 (シングルご利用)
ホテル葉風泰夢<ハーフタイム> http://www.nara-halftime.com/	新大宮	奈良市芝辻町2-11-6	0742-33-5656	1泊朝食付@ ¥7,000円
ホテルへは近鉄奈良線新大宮駅より徒歩1分 新大宮駅から生駒駅へは近鉄奈良線快速急行で約15分				
スーパーホテル奈良新大宮駅前 http://www.superhotel.co.jp/s_hotels/nara/nara.html	新大宮	奈良市芝辻町4-2-7	0742-35-9000	1泊朝食付@ ¥6,400円
ホテルへは近鉄奈良線新大宮駅より徒歩1分 新大宮駅から生駒駅へは近鉄奈良線快速急行で約15分				
東横イン奈良新大宮駅前 http://www.toyoko-inn.com/hotel/00183/	新大宮	奈良市芝辻町4-3-2	0742-36-1045	1泊朝食付@ ¥6,804円
ホテルへは近鉄奈良線新大宮駅より徒歩2分 新大宮駅から生駒駅へは近鉄奈良線快速急行で約15分				
東横イン近鉄奈良駅前 http://www.toyoko-inn.com/hotel/00249/	近鉄奈良	奈良市西御門町16-1	0742-85-1045	1泊朝食付@ ¥7,884円
ホテルへは近鉄奈良線近鉄奈良駅5番出口より徒歩1分 近鉄奈良駅から生駒駅へは近鉄奈良線快速急行で約17分				
大阪なんばワシントンホテルプラザ http://washington.jp/nanba/	日本橋	大阪市中央区日本橋1-1-13	06-6212-2555	1泊朝食付@ ¥7,860円
ホテルへは近鉄奈良線日本橋駅6番出口より徒歩2分 日本橋駅から生駒駅へは近鉄奈良線快速急行で約22分				

※上記の料金は1名で1室ご利用時のお一人様当たりの料金を表示しています。

※取消料について(規定に基づく)

前日(5/20)・・・宿泊代金の20% 当日又は不泊・・・宿泊代金の100%

※お申込みの方には、後日、支払方法などの確認のため、生駒交通トラベルサービス(担当：伊藤・藤原・石野)よりご連絡申し上げます。

※上記以外の宿泊施設をご希望の場合は、各自でご手配ください。

第23回環境自治体会議

いこま 会議

あなたなしでは始まらない。



いこま会議全体テーマ

住宅都市からの挑戦

～近未来のライフスタイル～

お問い合わせ先

〒630-0288

奈良県生駒市東新町8番38号

生駒市 環境経済部 環境モデル都市推進課内

環境自治体会議いこま会議実行委員会事務局

担当：深井・竹田

TEL：0743-74-1111（内線376）FAX：0743-75-8125

E-mail：eco-model@city.ikoma.lg.jp

第23回環境自治体会議いこま会議は、環境省の基準に基づき、カーボン・オフセットを実施しています。